



諏訪湖通信85号

令和7年7月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



ヒシ除去活動今年も実施しました

令和7年6月26日、27日、28日の3日間、諏訪市セーリング協会や諏訪湖漁業協同組合他多くの皆様にご協力いただき、初島周辺で刈取作業を行いました。

今年度は、ヒシが十分に成長しきる前に刈り取りを行う効率的な除去作業を実践するため、例年よりも約一カ月程前倒しで作業を実施しました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、湖岸域の貧酸素化や枯死による底質環境の悪化、船の運航障害、景観の悪化等の問題を生じさせるヒシの大量繁茂の対策として官民協働で手作業によるヒシの除去作業を行っており、今回は延べ154名で計3.5トンの刈り取りができました。



(手に巻き付けるとずずしりと重みがあります)

(稚エビの放流体験やお子さん向けの水環境学習会も開催さ



その「うんち君」はどこへ行く!? ～四賀小学校での出前授業「うんち君の旅」～

令和7年6月11日に四賀小学校の4年生を対象に諏訪湖クラブ・下水道広報プラットホーム・諏訪市水道局により、出前授業「うんち君の旅」が行われました。

授業では下水道の仕組みや役割をはじめ、諏訪湖の歴史や環境について学習しました。



座って話を聞くだけでなく、実際にトイレトペーパーでつくったうんち君を流し、普段見ることができないマンホール内からその姿を見たり、ペットボトル内の水にいった溶けるティッシュペーパーと溶けないもの自分で振って観察しながら、下水に流して良い・悪いものを確認しました。

授業はクリーンレイク諏訪(豊田週末処理場)の見学に繋がっており、今回流した「うんち君」の行く末とどうやって汚れた水を綺麗にするか期待を持たせて終了しました。

普段思いを寄せることのない下水道や処理場その先にある諏訪湖について、自分のこととして考えながら学んだことはきっと記憶に残る内容となり、時間が経っても思い出せる授業になると思いました。

沖野外輝夫会長が諏訪湖浄化に繋がる取り組みを評価され、栄えある信毎賞受賞

第32回信毎賞の贈呈式が7月4日、長野市のホテル国際21で開かれ、諏訪湖クラブの沖野外輝夫会長(88歳)が受賞対象の2氏1団体の1人として顕彰されました。

主催者の信濃毎日新聞社からは「明確な目的意識を持った研究と実践は行政や地域社会に支持され、その取り組みは生態学者として、また市民活動のリーダーとして、かつては「日本一汚い」と酷評された諏訪湖の水質改善に尽力した功績が高い」と評価を得ました。

沖野先生は「多くの方の協力により諏訪湖の浄化が進められた。賞は諏訪地域全体で頂いたと受け止めている。大事なものはこれからです。放っておけば諏訪湖は元に戻ってしまう」とこれからの継続的な活動の必要性を話されました。



(第32回信毎賞受賞者と長野県阿部知事との記念撮影)

スワ・ウォーター・アドベンチャー ～諏訪湖で、夏の冒険がはじまる～

(株式会社アポルタ 代表取締役 井川 竜太)

＜好評につき、定員枠160名は満員となりました＞

諏訪湖創生ビジョン推進会議が主催の「水辺アクティビティ推進業務」を受託し、企画いたしました。諏訪湖の水と触れ合い、諏訪湖に親しむ手段として、レンタルカヤックで自由に湖上散策ができ、沖合50m地点に設置された疑似島に上陸、水上アスレチック体験をお楽しみいただける内容です。地域住民の親水意識の醸成を図ることを目的としたイベントで、諏訪地域の小中学生を中心に広報をいたしました。

【開催情報】

- 場所: 赤砂崎公園付近
湖畔(砥川河口右岸)
- 日時: 2025年8月3日(日)
〈予備日: 8月30日(土)〉
9:00/11:00/13:00/15:00
- 参加費: 無料
- 参加条件: 3歳以上かつ
身長85cm以上
- 協力: アルピコホテルズ
株式会社



諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901